



滋賀の教育大綱

『未来を拓く心豊かで
たくましい人づくり』

～人生 100 年を見据えて～

《めざす生徒像》(伝統の継承)

『正しく』 『明るく』 『たくましく』

- ① 自律できる生徒(正しい判断と強い意志、実践力)
- ② 互いに認め合える生徒(思いやりの心、自他の尊重)
- ③ やる気のある生徒(自ら学ぶ意欲、心身の鍛錬)

長浜の教育基本方針

『つながりあい、学びあ
い、豊かに生きる人づく
りをめざす「ながはま」』

《学校教育目標》

『より良い自分を求め、つながりあい、主体的に未来を切り拓く生徒の育成』

- ★進んで自らを高め、未来を切り拓いていく力を育成する。
- ★自尊感情と存在感を高め、つながりあいを大切にする。
- ★誰一人取り残すことのない、個別最適な学びを目指す。

めざす学校像 「わくわく、いきいき、どんどん～子どもが主人公の学校づくり～」

☆わくわく…生徒がわくわくと学ぶ学校(安心・安全・笑顔)

☆いきいき…教師がいきいきと教育にあたる学校(チーム高月中)

☆どんどん…保護者・地域がどんどん参加する学校(連携・協働)

自学自走する学校づくり

全人教育～不易と流行

未来を生きる「令和の日本型学校教育」の推進

保護者との信頼関係

- ・ 生徒中心に、丁寧に
- ・ PTA 活動の充実

地域との信頼関係

- ・ 支援と貢献の両面
- ・ 学校運営協議会

【本年度の重点目標と具体的方策】

②居心地の良い学級集団

- 「居場所」と「出番」のある集団づくり
- ・ 親和的な雰囲気の中で、自分らしさを発揮する意欲と雰囲気を高める。
- 生徒一人ひとりが活躍できる場と仲間と協働できる場の設定
- 集団生活のルールの定着と思いやりの風土の醸成…QU検査の活用

③特別支援教育の充実

- 生徒個々の特性に応じた支援の充実
- 通級指導教室の有効活用
- 授業のユニバーサルデザイン化
- 特別支援学級への支援体制の確立
- 教員個々の指導力向上と研修の充実
- 保護者支援や家庭連携の推進
- 関係機関、学区内校園との連携

①学ぶ力の向上

- 校内研究の充実
- ・ 研究授業と研究協議会の充実
- ・ 「読み解く力」の視点を踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現
- ・ 「長浜スタイル」に基づく授業づくり
- ・ デジタルとアナログの最適な組合せ
- ・ ICT、デジタル教材の効果的な活用
- ・ 個別最適な学びと協働的な学び
- ・ 表現力、論理的思考力の育成
- ・ 授業評価アンケートの活用(年3回)
- 「家庭学習(宿題)」の充実
- ・ 授業とつながる家庭学習の推進
- ・ 個別の課題の克服に向けた学習
- ・ ICT機器の効果的な活用: Qubena 等

⑥ともに学び合う教職員集団

- OJTの充実と自主勉強会の推進

④個に応じた学びの場の創造

- 「別室(ピュアルーム)」の運営(加配)
- 校内教育相談体制の充実(SC、SSW)
- 学区全体としての共通課題と実践
- 指導の個別化と学習の個性化
- 個々の状況に応じた多様な選択肢
- ・ 民間団体も含めた新たな連携の模索

⑤豊かな心の育成

- 道徳教育、心の教育の充実
- 「立腰教育」の推進
- ふるさと教育、キャリア教育の推進
- ・ 生徒会「天使の羽」ボランティア
- ・ 職場体験学習の実施
- ・ ふるさとの未来を語り合う熟議の開催
- 平凡な事を非凡に取り組む。
- ・ あすこそは(「挨拶」「スマイル(笑顔)」「腰骨」「掃除」「はきもの」)の徹底

『人生 100 年時代を生き抜く「人」としての土台づくり』

「時を守り」

「場を清め」

「礼を正す」

(すべての人の時間を守り大切にする。)(整理整頓と掃除に真摯に取り組む。)(元気でさわやかなあいさつを交わす。)